

色めく自然美  
晩秋に聴く  
「田園」

ヴァイオリン  
千住真理子

指揮  
大友直人

© Kiyotaka Saito(SCOPE)

モーツァルト：歌劇『皇帝テートの慈悲』K.621 序曲  
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
ベートーヴェン：交響曲 第6番 へ長調 作品68「田園」

管弦楽  
東京交響楽団

© N.Ikegami

2023.11/23 | 木・祝 | 14:00開演 (13:15開場) 府中の森芸術劇場どリーむホール

京王線東府中駅 北口下車徒歩約7分

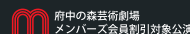
全席指定 | S席 5,500円 | A席 4,500円 | 青少年席 2,000円

\*青少年席：対象は22歳以下(2階席後方)  
お取扱いにはチケットふちゅう、チケふ.net、チケットぴあのみ

一般発売(予約開始)▶6月27日(火)10:00~

府中の森芸術劇場メンバーズ会員：電話・チケふ.net. 予約開始▶6月23日(金)10:00~

東響会員先行発売▶6月20日(火)10:00~ \*東響会員…サポート会員、TOKYO SYMPHONY VISAカード会員、定期会員



府中の森芸術劇場  
メンバーズ会員割引対象公演

- チケットふちゅう 042-333-9999 (10:00~18:00) ※劇場休館日は休業 ※予約開始日は店頭での販売はありません
- チケふ.net. (24時間受付 予約開始日は10:00~) パソコン・スマホ <http://tickefunet.pia.jp/>
- TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00~18:00 土日祝休み)
- TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <https://tokyosymphony.jp> ■ チケットぴあ <https://pia.jp> [Pコード 235-913]

ご来場の際は、当劇場が定める各種感染症対策へのご協力をお願いいたします。

\*チケットお申込み後の変更・キャンセルはお受けできません。また一度お申込みいただいたチケットは公演中止の場合以外は、キャンセル・払い戻しができません。\*やむを得ぬ事情により、出演者・曲目・その他を変更する場合がありますので、予めご了承ください。  
\*チケットの紛失等での再発行はいたしかねます。\*営利を目的としたチケットの転売は、固くお断りいたします。\*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。\*表示価格はすべて税込価格です。

## 色めく自然美 晩秋に聴く「田園」

ウィーン郊外の「田園」はベートーヴェンがこよなく愛した自然の美しい風景。

ベートーヴェン自身が標題を付けた唯一の交響曲「田園」は、各楽章にも描写的な副題が付けられ、「単なる田園の情景の描写ではなく、人々の心の中に起こる田園での喜びの感情を描いたもの」とベートーヴェンは語っている。その牧歌的な明るさと自然の持つ開放感のある安らかさに満ちた作品を、大友直人のタクトで表情豊かに描き出す。

甘美で華麗な旋律に溢れ、名曲ひしめく中でも女王の風格を纏うメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。ヴァイオリニスト千住真理子が、名器ストラディヴァリウス「デュランティ」とともに、美しく哀愁漂う旋律を奏でる。

| Profile |



© Rowland Kirishima

### 大友直人 (指揮) Naoto Otomo, Conductor

桐朋学園大学在学中にNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている。これまでに日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在は東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督。東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、海外オーケストラからも度々招かれており、ハワイ交響楽団には20年以上にわたり定期的に招かれている。小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはW.サヴァリッシュ、G.ヴァント、F.ライトナー、H.プロムシュテット、H.シュタインらに学び、タングルウッド・ミュージックセンターではL.パーンスタイン、A.プレヴィン、I.マルケヴィチからも指導を受けた。大阪芸術大学教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。



© Kiyotaka Saito(SCOPE)

### 千住真理子 (ヴァイオリン) Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2022年9月に最新アルバム「ポエジー」をリリース。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫) 母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社) など多数。千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>

### 東京交響楽団 (管弦楽) Tokyo Symphony Orchestra, Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュンヘン川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ (演奏会形式)》は音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。

公式サイト <https://tokyosymphony.jp/>

| Access |



© N. Ikegami

